

(学年) 第2学年、(教科・科目) 地理歴史・世界史 A

一斉学習

(単元) 新しい時代の始まりとルネサンス

(本時のねらい)

ルネサンスがどのような変化を世界にもたらしたのかを考察すると同時に、芸術作品の鑑賞を通して、感性や素養を高める。

(ICT 活用方法)

古代ギリシャ・ローマの芸術、中世ヨーロッパのキリスト教的芸術、人間性の再興としてのルネサンスの芸術を電子黒板で比較して、ルネサンスの「復興・再生」の意味を視覚的に捉える。美術館で撮影した写真や動画をもとにしたクイズを行い、学習した知識を活用し、ルネサンスの芸術の特徴を考察するとともに、地元地域の施設と世界史を関連付けて興味を持たせる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 10分	・古代ギリシャ・ローマの芸術作品と中世の絵画を比較してどちらが古い作品かを考察する。	・選んだ作品についてなぜそれを選んだか理由を説明させる。	・電子黒板に作品を投影する。
展開 30分	・ルネサンスの作品を鑑賞し特徴を捉える。 ・美術館所蔵作品からのクイズに答える。	・芸術家たちの表現の特徴について読み取らせる。 ・作風や表現方法から作者を推理させる。	・電子黒板に作品を投影する。 ・鑑賞のポイントを拡大や強調で確認する。 ・実際に撮影した動画や写真を使い、プレゼンテーションソフトでクイズを提示。
まとめ 10分	・ルネサンスの特徴や背景をまとめる。	・授業を振り返り考えさせる。	・授業支援クラウドアプリのワークシートに記入する。

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

世界史を美術の視点から扱うことで、美術選択者や美術部などの特定の生徒からは反応が良かった。実際に撮影してきた写真や動画を使用したことで、ルネサンス期の芸術について多少身近に感じられたと思い、普段よりも反応が多かったと感じた。授業支援クラウドアプリのワークシートにおいて、まとめではそれぞれが感じたことを自由に書いていたが、もっと既習の知識と関連付けて表現できるようにヒントを提示する等の改善を要する。